

ロードマップの骨子案

- 1 ロードマップ策定の趣旨
 - 「やまなしエネルギービジョン」の策定（平成28年3月）
 - ・水素エネルギー社会の実現を推進
 - ・水素エネルギー社会実現に向けた課題解決、具体的方策の必要性
- 2 水素社会実現の意義
 - 水素の利活用の拡大による省エネルギー、エネルギーセキュリティの向上、環境負荷の低減に貢献できる可能性
- 3 山梨県が目指す水素社会
 - 再生可能エネルギー由来の水素製造・流通・利用のサプライチェーンの構築
 - 再生可能エネルギー導入量の拡大とCO₂削減効果の発揮
 - 水素・燃料電池関連産業の振興 等
- 4 山梨県の取組の現状と課題
 - 再生可能エネルギーの導入拡大と系統制約、化石燃料代替による低炭素化等の課題への対応
 - ・水素の社会受容性向上に向けた普及啓発
 - ・再生可能エネルギー由来の水素製造に関する技術の確立
 - ・水素調達価格の低減
 - ・燃料電池の適用分野の拡大
 - ・水素ステーションの戦略的整備 等
- 5 目標と工程の設定
 - 家庭用燃料電池の普及促進
 - 産業用燃料電池の普及促進
 - FCV（バス、その他）の普及
 - 水素ステーションの整備促進
 - 水素・燃料電池関連産業の振興 等
- 6 取組の方向性
 - ステップ1（～2020年頃）：水素利用の飛躍的拡大
 - ステップ2（～2030年頃）：水素発電の本格導入 / 大規模な水素供給システムの確立
 - ステップ3（～2040年頃）：トータルでのCO₂フリー水素供給システムの確立